※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　学　総合科

教科	学　総合	科目	(学)小論文	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では小論文の構造について理解し、小論文の作成に必要なことについて学びます。授業ではオリジナルプリントを中心に課題文などを通じて必要な技術を身につけます。

２　学習の到達目標

小論文の作成のために必要なことを学びます。
(1) 小論文の構造について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
(2) 小論文の作成を通して社会生活に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
(3) 自分の考えをまとめるために自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	小論文の構造について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	小論文の作成を通して社会生活に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	自分の考えをまとめるために自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td>前期</td><td rowspan="2">小論文の型を知る</td><td rowspan="2">①「意見」と「根拠」
原稿用紙のきまり
書き言葉・悪文訂正
書き出しの練習
②提案型(どうすべきか)
例文に倣って練習する。
考えを深める。型を利用して小論文を書く。
③賛否型(どちらを支持するか)例文に倣って練習する。考えを深める。型を利用して小論文を書く。
④事例考察型(なぜか)
例文に倣って練習する。考えを深める。型を利用して書く。
⑤課題文型
例文に倣って練習する。考えを深める。型を利用して書く。
⑥自己 PR 文を書く。例文に倣って練習する。型を利用して書く。</td><td>a:小論文の構造を理解している。
b: 小論文の構造について考察し、自分なりに表現ができる。
c: 小論文について知識を生かして実践に取り組もうとしている。</td><td rowspan="2">・レベルクリアテスト
・定期考査</td><td rowspan="2">・定期考査
・レポート課題</td><td rowspan="2">・日常の取り組み状況
・補習の状況
・振り返りシート</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>a: 小論文の作成に必要な要素を理解している。
b: 小論文の作成に必要な要素について考察し、自分なりに表現ができる。
c: 小論文の作成に必要な要素について知識を生かして実践に取り組もうとしている。</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度